

1. 日時 平成19年6月27日(水) 5校時6校時
2. 学年 2年 21人
3. 単元名 「蔵人の魂」を太鼓で表現しよう
4. 単元設定の理由

生徒観

所属校では、総合的な学習の時間の単元の中で、地域の伝統文化を伝承・創造する体験活動に取り組んできた。しかし、この総合的な学習の時間における体験活動が形骸化しはじめ、生徒が主体的に取り組むものになっていない状況がある。これは体験活動が技術の習得を中心とした教師による教え込みの活動になっており、生徒にとって目標等が主体的に意識されていなかったためであると考え。本単元を実施するにあたり2学年太鼓グループの生徒に事前アンケートを行った。その結果、ほとんどの生徒は楽しさや価値を感じているが、グループで積極的に議論したり、自ら進んで太鼓演奏をしたりする主体的な取り組みをよく実行している生徒は全体の1割であった。

単元観

所属校の総合的な学習の時間では、まず1学年では地域に関心を持ち、自分で調べたり、表現したりする力を育てることを目標とし、地域の伝統文化について調べたり、酒蔵を取材したりすることに取り組んでいる。次に2学年では地域の伝統文化を受け継ぎ、新たに創造していくことを目標とし、地域に伝わる酒造り唄や踊りをもとにつくられた組曲「西條」に和太鼓・踊り唄のグループに分かれ取り組んでいる。さらに3学年では郷土に愛着をもち、自分自身を見つめ、学んだことを自己の生き方につなげることを目標とし、3年間の取り組みの成果を地域に還元するために組曲「西條」の公演を行っている。

本単元は、2学年の太鼓練習の場面であり、「蔵人の魂」を太鼓で表現するという目標に対して、各グループで取り組む問題解決的な学習を取り入れる。各グループでイメージした「蔵人の魂」を追究する中で問題に気づき、その問題を解決していく過程を通して、主体的に取り組む態度を育てることができると考える。

指導観

- (1) 問題把握の場面では各グループで「蔵人の魂」をイメージし、KJ法を利用しながらイメージを焦点化していく過程で積極的に議論できるようにする。
- (2) 追究の場面では各グループで「蔵人の魂」のイメージを表現していく過程で、問題に気づき、問題解決に向けて主体的に取り組むことができるようにする。
- (3) 整理、発表の場面では、まず自己のグループ内で共通理解を図り、発表を行う。次に他のグループの取り組みシートや発表を見ることで、さまざまな問題解決への取り組みに気づかせる。

太鼓グループ2年生 単元の学習のながれ(全33時間)

課題選択 4月	課題解決							まとめ
	5月	6月	7月	9月		10月		
オリエンテーション 計画の説明 (2時間)	奏法の研究 太鼓の練習 (10時間)	3年との合同 練習 (2時間)	奏法の研究 太鼓の練習 (11時間)	中間発表 (2時間)	プロの指導 者による指導 (1時間)	3年との合同 練習 (2時間)	研究発表 (2時間)	振り返り (1時間)

本単元での取り組み(6時間 [6~11/11時間])

5. 単元目標 グループ内で積極的に議論し、演奏方法の工夫改善を行い、問題解決に向けて主体的に取り組む。
6. 評価規準

ア 学習への主体的な態度	イ 問題解決能力	ウ 表現能力
問題解決に向けて積極的に議論している。	問題を明確化し、問題解決の手段や方法を考え、見直しをもって取り組んでいる。	「蔵人の魂」をイメージして、太鼓で表現するために演奏方法を工夫している。

7. 本時の展開 (1, 2 / 6)

(1)目標

グループで積極的に意見を出し合い,問題解決に向けて計画を立てることができる。

(2)本時の評価規準

「蔵人の魂」をイメージするために,積極的に議論している。

問題解決に向けてグループで協力し,計画を立てている。

(3)準備物

KJ 法のための用紙 計画表 1年次の取組みビデオ

(4)学習の展開

生徒 21名 (4~ 5名の5グループで編成)

	学 習 活 動	形 態	指導上の留意点,支援 評価規準	評価方法
問題把握	<p>1.本時の目標と進め方を全体で確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>目標 酒造りにかける蔵人の魂を太鼓で表現しよう。 条件:グループで取り組むこと 太鼓は4種類すべて使うこと 発表は5分(紹介1分 曲の長さ4分)で行うこと</p> </div> <p>2.1年次における地域の歴史や文化を調べた総合的な学習の時間の取組みのビデオから酒蔵で働く蔵人についての場面を5分間視聴する。</p> <p>3.蔵人について知っている事を想起し,発表する。</p> <p>4.「蔵人の魂」とはどんなものか考える。</p>	一斉	<p>全 6時間の全体像や注意すること,および本時 5,6校時の内容を確認する。</p>	教師の観察
50分	<p>5.「蔵人の魂」からイメージできる言葉を付箋に書き出し,KJ法によって整理してみる。</p> <p>6.「蔵人の魂」についてのイメージをまとめ,取り組むイメージを設定する。</p> <p>7.「蔵人の魂」を太鼓の音で表現するために,どんな方法があるか,考えを出し合う</p>	グループ	<p>できる限り多くの言葉を考えさせ,「蔵人の魂」をイメージしやすいようにする。</p> <p>「蔵人の魂」をイメージするために,積極的に議論している。</p> <p>知っていることや,やってみたいと思うことについて,思いつくまま出していきよう助言する。</p> <p>時間を確認しながら進めていくよう伝える。</p>	
計画	<p>1.「蔵人の魂」を太鼓の音で表現するために,どのような方法で取り組みを行うか計画を立てる。</p> <p>2.この単元(残り5時間)の流れをつかむため,だれが,いつまでに,何をするかなど目標を設定し,見通しをもつ。</p> <p>3.実際に太鼓を使用しながらイメージする音を作ってみる。</p> <p>4.終了後,グループの計画表を1部提出する。</p> <p>5.次時の活動について確認する。</p>	グループ	<p>この単元の計画が確認しやすくなるような計画表を準備しておく</p> <p>問題解決に向けてグループで協力し,計画を立てている。</p> <p>計画がおくれているグループについては,目標までに必要なことを自由に挙げさせ,計画表の中に入れてなければならないかどうか検討させていく。</p> <p>本時の目標に照らし合わせ,評価し,次時の活動への意欲付けを行う</p>	<p>教師の観察</p> <p>計画表</p>

8. 本時の展開 (3, 4 / 6)

(1) 目標

問題を明確化し, 問題解決に向けて積極的に議論し, 演奏方法の工夫, 改善に取り組む。

(2) 本時の評価規準

問題解決に向けて積極的に議論している。

問題を明確化し, 問題解決の手段や方法を考え, 見通しをもって取り組んでいる。

(3) 準備物

取組みシート 楽譜のためのシート ストップウォッチ DV カメラ

(4) 学習の展開

	学 習 活 動	形 態	指導上の留意点, 支援 評価規準	評価方法
追 究 50 分	<p>1. 本時の目標と進め方を確認する。</p> <p>2. 計画表をもとに, 各グループで考えた方法を用いて追究していく。</p> <p>3. 各グループで追究していく過程を整理するために取組みシートへ記録する。</p>	グ ル ー プ	<p>各グループで作成した計画表をもとに残り4時間の展開を確認する。</p> <p>4分間の作品に仕上がるよう確認するためにストップウォッチをグループで1個渡しておく</p> <p>グループ間で, 音が混ざらないよう, 空き教室を利用できるよう配慮する。</p> <p>問題解決に向けて積極的に議論している。</p>	教師による観察
追 究 50 分	<p>4. 楽譜を完成させ, それをもとに発表に向けて練習する。</p> <p>5. 各グループでイメージした『蔵人の魂』を追究するために演奏方法の工夫, 改善に取り組む。</p> <p>6. 次時の活動について確認する。終了後, グループの取組みシートを1部提出する。</p>		<p>問題を明確化し, 問題解決の手段や方法を考え, 見通しをもって取り組んでいる。</p> <p>進んでいないグループや生徒に対して, 「問題点に気づかない」問題解決へのアプローチで困っている」など, どの段階でつまづいているのか見極めて, ヒントなど与えていく。</p> <p>完成した楽譜をもとに練習ができているグループから, 現時点の様子を撮影できるようDVカメラを準備しておく</p> <p>次回のリハーサルと発表の手順を確認する。</p>	

9.本時の展開 (5,6/6)

(1)目標

各グループでイメージした「蔵人の魂」について、演奏方法を工夫した発表をすることができる。

(2)本時の評価規準

発表に向けてグループで積極的に議論している。

「蔵人の魂」をイメージして、太鼓で表現するために演奏方法を工夫している。

(3)準備物

ストップウォッチ 事後アンケート 相互評価シート

(4)学習の展開

	学 習 活 動		指導上の留意点,支援 評価規準	評価方法
整理 40 分	<p>1.本時の目標と進め方を確認する。</p> <p>2.「蔵人の魂」を太鼓で表現していく過程で、グループ内で気づいた問題やその解決に向けての取組みなど取組みシートをもとに整理し、共通理解を図る。</p> <p>3.各グループで発表に向けて準備やリハーサルをする。</p> <p>4.各グループの取組みシートのコピーを受け取り、他のグループの気づいた問題やその解決方法などを確認する。</p>	グ ル ー プ	<p>各グループで作成した計画表をもとに残り2時間の展開を確認する。</p> <p>リハーサルについては前回までの進捗を配慮しながら順番を設定し、時間を各グループ6分間とし、別室で行う</p> <p>発表に向けて、グループで積極的に議論している。</p> <p>各グループの整理のできた取組みシートを預かり、コピーして配布する。</p> <p>他のグループの取組みシートを見ることで、気づいた問題やその解決方法を理解し、発表後の評価に活かすようにする。</p>	教師による 観察
発表 45 分	<p>1.5つのグループによる発表を行う (紹介1分、曲の長さ4分)</p> <p>2.各グループの発表後に、相互評価シートに記入し、その場で提出する。(記入時間3分)</p>	グ ル ー プ	<p>「蔵人の魂」をイメージして、太鼓で表現するために演奏方法を工夫している。</p> <p>相互評価の記入については問題解決の良い点や改善点、および発表の感想を具体的に分かりやすく書くように指示する。</p>	教師による 観察 相互評価
評価 15 分	3.各グループで相互評価シートをもとに取組みを振り返る。(8分)		相互評価シートで良い点や改善点を整理することによって、今後の太鼓演奏の取組みへの方向付けを行う	
	4.事後アンケートに記入する。(7分)	一 斉	事後アンケートを記入することにより今单元(6時間)の総括的な自己評価となるようにする	事後アンケート (自己評価)

発表の手順
今から グループが発表をおこないます。
「蔵人の魂」を「・・・」のようにイメージしました。
私たちはまず「・・・」という問題に気づきこれを解決していくために
「・・・」のように取り組みました。
発表では「・・・」の部分に注目して聞いてください。それでははじめます。
以上 グループの発表を終わります。